



日野川の畔に面するエミーズカフェは、江府町初の就労継続支援B型事業所「江美の郷」にあります。ランチタイムやコーヒータイムには、ゆったり寛げるスペースとして、江府町内外の皆さんから親しまれています。

この施設の管理者を務めているのが、清水里香さんです。清水さんは、米子市内でパン教室を主宰する先生。生徒としてパン作りを学んでいた社会福祉法人尚仁福祉会の理事長に見込まれて、平成28年にエミーズカフェ立ち上げを機にパン作りの指導者として着任しました。3年前には、管理者に就任。通所されている方やスタッフへの指導を行いながら、事業所の運営に取り組んでいます。

「人によって、目標、能力、性格、それぞれ違っているからこそ、教えるのが楽しい!」という清水さん。「『B型事業所だから』、ではなく、『パンが美味しいから』、という理由で選ばれるパン屋さんでありたい」をモットーに、エミーズカフェのパンやチーズケーキで多くの人々を笑顔にしています。

※就労継続支援B型事業所とは・・・障がい者の方などで、企業に就職することが困難な方に対し、雇用契約を結ばずに働く場所を提供する事業所です。



清水さん「地元大山乳業の牛乳やバターなどを使い、水を一滴も入れずに作った焼き立ての食パンは、ふわふわで香り高く、人気です。」  
「プレゼント用に、一人で何十本も注文される方もおられますし、遠くから定期的にまとめ買いに来られる方もおられ、ご注文にはできる限り応えるよう頑張っています。」



江府町にお住いのお客様「家族でランチを楽しんで、パンをお土産に買って帰ります。」



パンを買うために来られたお客様「2年前に食べたパンの味が忘れられなくて、帰省したのを機に、わざわざ買いに来ました。」

清水さん「パン作りは科学です。水分が5cc違っても、もう手に負えなくなります。正確性が求められる作業です。」



通所の方「パン作りは、全ての工程が楽しいです。将来は、パン屋さんで仕事がしたいです!!」

日野振興局 地域振興課  
電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

## 鳥取県の和子牛セリ価格が令和2年に 全国一の高値となりました



本県の和子牛セリは琴浦町の鳥取県中央家畜市場で年間8回開催され、県内外から多くの購買者が来られます。



全国から引き合いの強い種雄牛「白鵬85の3」  
(写真:鳥取県畜産試験場提供)

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

令和2年に鳥取県中央家畜市場で開かれた本県の和子牛セリの1年間を通しての平均価格が80万4,560円(税込価格、以下同じ)となり、全国103市場の中で第1位の高値となりました(日本農業新聞調べ)。これまで、月単位では何度か1位となったことはありますが、年間を通しての全国1位は記録の残る平成以降初めてとなります。また、令和3年になってからも1、3、4月に和子牛セリが開催されましたが、全てその月の全国1位の価格で取引されています。

日野郡でも令和2年に39戸の和牛農家が155頭の和子牛を出荷し、県平均価格を上回る平均82万1,161円で取引され、中には130万円を超える子牛も10頭いました。

これは産肉能力、特に高級な霜降り肉になる能力を持っている種雄牛「白鵬85の3」を父に持つ子牛を購入したい県外購買者からの引き合いが強いためです。鳥取県中央家畜市場では「白鵬85の3」の子牛が約6割を占めており、特に雌子牛は令和2年には平均100万5,403円と高値で取引されています。

更に、本県では令和3年4月の和子牛セリ市からゲノム育種価(遺伝的な産肉能力を数値化したもの)をセリ名簿に記載する等、先進的な取り組みを全国に先駆けて行い和牛の改良を進めています。

この記事で和牛繁殖に興味をもたれた方は、日野農業改良普及所までご相談ください。

## 日野郡発!

## おいしいお米のブランド化



### おいしさは全国でも認められています

日野郡は、食味が良い米の生産地として有名です。近年の猛暑下においても、食味や品質が安定しており、「奥日野コシヒカリ」に代表されるブランドは県外でも人気の商品です。

毎年全国レベルの米コンテストにも出品されており、江府町の「奥大山プレミアム特別栽培研究会」が生産した「奥大山江府米きぬむすめ」は、毎年上位入賞する実力を誇っています。

### 日野郡産米のブランド化推進に向けて

日野郡では平成15年度から独自の米コンテスト「日野川源流米コンテスト」を実施し、日野郡産米のPRに繋がっています。

そして、近年、米販売の低迷が懸念されている中、鳥取県では、県育成新品種である「星空舞」のブランド確立に向けた取り組みを行っています。

その栽培技術向上の一環として実施されている、「令和2年度星空舞栽培コンテスト」では、日南町の大塚貴昭氏(折渡、標高450m)が最優秀賞を受賞されました。日野郡のような標高の高い地域は、冷害のリスクはありますが、おいしいお米の生産に有利であることが実証された形となりました。

「星空舞」は、令和3年度から標高300mまで作付推奨地帯が拡大され、日野郡でも広く普及できるようになりました。令和2年度に日本穀物検定協会が実施した米の食味ランキングで最高評価の「特A」を取得した鳥取県産「コシヒカリ」と「きぬむすめ」に「星空舞」も加え、日野郡産米が鳥取県産米のおいしいお米のブランド化をリードしていくことが期待されます。



大山を望む江府町水田風景

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

## 所長新任所感

### 連携・協働で住みよい地域づくり

4月1日付けで日野振興センター所長を拝命しました栃本でございます。日野郡での勤務は初めてで、新鮮な気持ちで頑張っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

日野郡は、中国山地の山並みや日野川水系の清流に育まれた自然環境、食や歴史・文化等の地域資源、そして温かな人のつながりなど、たくさんの魅力と可能性を持った地域だと感じています。その一方で、高齢化の進展や人口減少、農林業や地域活動等における担い手の不足などは、県内でも特に厳しい状況にあります。

そのような中であっても、現状をしっかり受け止め、みんなで知恵を出し合い、力を合わせて、ときには地域の外からの人材や協力も受け入れながら、様々な課題に立ち向かってこられたのは日野郡の強さの証です。また、3町と県が連携して困難な課題解決に取り組む鳥取県日野郡連携会議も日野郡ならではのスタイルで、3月には、新型コロナを乗り越えて地域社会を切り拓くための「医療連携」、「ふるさと教育」、「行政のデジタル化」の取組を連携して進めていくことが合意されたところで。

乗り越えられない壁はありません。日野振興センターは、日野郡が活力のある住みよい地域としてますます元気になっていきますよう、地域の皆さま、町や関係団体等の皆さまと一緒に悩み、考えながら、多様化する課題の解決に向けた取組を進めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



日野振興センター所長  
栃本 義博

